

ロンドン、2022年11月4日：[自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）](#)が自然関連リスク管理・開示のフレームワークのベータ版 v0.3 をリリース

TNFD ベータ版フレームワーク v0.3 では、以下のような大幅な更新と改善が行われました。

- 自然への依存と影響を組織にとってのリスクと機会に組み込んだ、開示提言案の拡大
- サプライチェーンのトレーサビリティ、権利所有者を含むステークホルダーのエンゲージメントの質、組織の気候変動および自然関連の目標の整合性に関する新たな開示提言の提案
- TNFD の開示提言の適用において、報告書作成者のさまざまな重要性、報告の嗜好、ニーズに対応するとともに、企業および金融機関による早期対応を支援し、時間の経過と共に開示意欲を高めることを奨励する適応的アプローチ
- リスクと機会の評価、およびその分析を裏付けるために提案されている指標に関する追加ガイダンス
- 提案されているリスクと機会の評価アプローチ（LEAP）の実用性の向上
- 科学的根拠に基づく目標ネットワーク（SBTN）と共に作成された目標設定に関するガイダンス案と、金融機関向けの開示ガイダンス案
- 2 つの新しい協議資料（シナリオに関するものと、自然関連リスク管理と開示の社会的側面に関するもの）は、タスクフォースが現在取り組んでいるこれらの分野への市場参加者のさらなる貢献を奨励する。

2023年9月における最終提言の発表に向けて、このベータ版フレームワーク v0.3（更新版）には、世界中の企業、金融機関、政府、規制・基準設定機関、市民社会団体、先住民・地域コミュニティからの幅広い意見やアイデアが活用されています。

6月における v0.2 のリリース以来、タスクフォースをサポートする TNFD フォーラムは、5大陸からの 700 以上の機関にまで拡大しました。130 以上の組織がすでにベータ版フレームワークのパイロットテストを開始または発表し、100 以上のデータプロバイダーが現在 TNFD の Data Catalyst イニシアチブに参加しています。

タスクフォースの共同議長であるデビッド・クレイグ氏は、次のように述べています。

「TCFD のアプローチや文言に合った、リスクと機会に関する以前リリースされた開示案とともに、TNFD ベータ版フレームワーク v0.3 では、依存、影響、リスク、機

会に関する推奨される開示の全範囲を提供し、報告書作成者の選好やコンプライアンス要件をどこでもサポートできるようにしています。

私たちは、企業や金融機関が自然関連の依存、影響、リスク、機会に対して、TNFD フレームワークを早急に行動を起こすための強力なツールとして提供することを目的としています。このフレームワークは、時間の経過とともに開示意欲を促すものです。これは金融の流れや事業活動を、自然の損失を早急に食い止め、回復させるというタスクに合致させ、現在、自然関連リスクの頻度と規模が明らかに拡大する中で、企業や金融機関がそのレジリエンスを確実に高めるために不可欠なものです。」

ベータ版フレームワークの更新の一環として、タスクフォースは2つの協議資料（シナリオに関するものと、自然関連リスク管理および開示に関連する社会的考察に関するもの）を発行し、フレームワークのこれらの側面について検討を続ける中で、市場参加者やその他のステークホルダーからさらなる意見を求めています。

ブラックロックのTNFDタスクフォースメンバーであり、シナリオワーキンググループのリーダーであるジェシカ・マクドゥガル氏は、次のように述べています。

「タスクフォースは、気候や自然関連の重大な不確実性への理解を深めるとともに、組織がそのビジネスモデルにおける自然資本の利用に関連する重大なリスクと機会について考えることを促すために、シナリオのアプローチ案を策定しました。このフレームワークは意図的に柔軟性を持たせており、自然関連のシナリオに関する追加のガイダンスが市場全体で作成された場合、繰り返しアプローチすることが可能です。本日リリースされる協議資料へのご意見をお待ちしております。」

2023年3月にリリース予定のフレームワークの最終版（v0.4）の草案に向けて、タスクフォースは、開示指標、サプライチェーン全体の影響、依存、リスクの測定に関するガイダンス、農業・水産養殖、鉱山、エネルギー、インフラ、その他のセクターを含む、優先セクター向けの追加ガイダンスの作成なども行っています。

これらの追加活動を支援するため、TNFD は間もなく、タスクフォースメンバーを 34 名から 40 名に拡大し、さまざまなセクターの企業を迎え入れ、セクターのカバー率と能力を高めることを発表する予定です。

3月のv0.4のリリース後の最終協議プロセスを経て、TNFDの最終提言（v1.0）は2023年9月に発表される予定です。

TNFD の共同議長であり、生物の多様性に関する条約（CBD）事務局長のエリザベス・ムレマ氏は、次のようにコメントしています。

「TNFD フレームワークは、新しい規制や基準設定のアプローチだけでなく、現在、『生物多様性枠組みに関する国際目標』（GBF）として交渉されているグローバルな政策目標ともうまく合致する方向で進化しています。TNFD フレームワークは、GBF に代表される自然の損失に取り組む世界的な政治的コミットメントと、企業や金融機関のより優れたリスク管理と資本配分を通じた行動の準備をつなぐ、実用的な結合組織となることができると確信しています。」

-以上-

編集者様へ

TNFD フレームワークのポータルは[こちら](#)からアクセスできます。

TNFD フレームワーク v0.3 の PDF 版は[こちら](#)からダウンロードできます。

自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）について

自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）は、常に変化する自然関連リスクを組織が報告し行動を起こせるようにするための統合リスク管理と情報開示に関するフレームワークを開発し提供することを目的として設立されました。世界の金融の流れを自然にとってマイナスの結果から自然にとってプラスの結果へとシフトさせるようサポートすることを究極の目的と考えています。

19.4 兆米ドル超の資産を有する 34 名のタスクフォースメンバーが、TNFD 共同議長とともに TNFD フレームワークを策定しています。業界をリードする科学機関、基準作成機関、データ機関から構成される 16 のコアナレッジパートナーが、タスクフォースの取り組みに参加しています。700 の機関が、TNFD フォーラムの一員としてタスクフォースの活動をサポートしています。

TNFD は 2023 年 9 月にそのフレームワークを提供することで、常に変化する自然関連リスクについて組織が報告し、行動できるようにすることを目指します。金融機関や企業は、より優れた情報を得ることで、自然関連リスクと機会を意思決定のプロセスに組み込むことができるようになります。

TNFD イニシアチブは、2020 年 9 月に Global Canopy、UNDP、UNEP FI、WWF という 4 機関により設立されました。9 か月間の準備フェーズを経て、2021 年 6 月に正式に発足しました。TNFD は、オーストラリア政府、オランダ政府、フランス政府、スイス政府、英国政府、チルドレンズ・インベストメント・ファンド財団（CIFF）、地球環境ファシリティ（GEF）、国連開発計画（UNDP）の資金提供を受けています。

ウェブサイト：<https://tnfd.global/>

SNS リンク：[Twitter](#) および [LinkedIn](#)

詳細については以下宛てにご連絡ください。

Renu Sabherwal

コミュニケーション担当リーダー

自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）

Renu.Sabherwal@tnfd.global

+44 (0) 7770 381303